

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢
ロボット開発技術者

その仕事や夢を選んだ理由
心をもっているロボットを
世界中の人を笑顔にしたいから

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう
・本代・新聞代・博物館入場代・えいご学校代・プログラミング代
・ロボット材料代・PC代・情報処理技術者試験・留学代
・CAD利用技術者試験・電気主任技術者試験・入学入学代

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
10歳	小学校 機械やAIなどのロボットにかんけいすることを本や新聞で 調べる。えいごをべんきょうする。博物館にロボットをみに行く。
12歳	
13歳	中学校 社会問題を知る。自分で考えてロボットをつくる。世界のコンペティション に参加する。本をよむ。世界大会の上位者と友達になる。 じゅくをべんきょう
15歳	
16歳	高校 自分が作ったロボットを先生みせてアドバイスをもらう。 自分で考えてロボットを作る。大学に行くための勉強をする。 めいごのべんきょう
18歳	
19歳	大学 大学の工学部に入る。動物のロボットをつくる。 かくをとるためにロボットのことを研究する。
20歳	
21歳	大学 メカのインターンでロボットせいくを学ぶ。 本格的な人間がたロボットをズリはじめる。
22歳	
23歳	留学 留学して海外の大学院でロボットせいくをまなう。 イギリスに
24歳	
30歳	世の中の人を笑顔にしてくれるロボットをつくり 世の中を笑顔でまなう。

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと
・あみ物を自分の子とみにプレゼントしたい
・子どもとたくさんあそびたい 近所の人たちと仲よくなる
・バンドをつくりたい ・オリンピックの会場へいきたい

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。

世界中を笑顔でいっぱいにするために

筑波大学附属小学校 四年 五十嵐 陽士

私の将来の夢はロボット開発技術者になる事です。なぜなら人々の未来のくらしをロボットなら笑顔でいっぱいにすると思っただけからです。

きっかけは、近所の目が不自由な女の人です。女の人は赤信号を途中まで渡ってしまったり、曲がり角から飛びだしてきた車に少し体をぶつけてしまったことがあります。このような目が不自由な人は一人で外にでる時にロボットといっしょに行動をすれば、事故などになる可能性もなくなります。他にも私の曾祖父は一人暮らしをしています。曾祖父は高齢者なので家事などの家の作業はできているのか、こまった事はちゃんと解決できているのかなどとても心配になります。なので曾祖父のような高齢者は家の中で一人である時は家事などのめんどうを見てくれるロボットがあればそんな心配をするひつようもなくなります。

ロボット開発技術者になるためには情報処理技術者試験、CAD利用技術者試験、機械設計技術者試験、電気主任技術者試験の四つの資格が必要です。私は四つの資格をとるために、AIや電子、電気などの知識を身につけるために図書館に行き本で調べることや、本物のロボットを見に行くなど今の自分にできることを少しずつやっていきたいです。

り、決められた期間の間借りて、決められたお金をはらうというシステムです。このようなロボットを作るだけではなく、普及にも自分からかわりたいたいです。世の中では今、高齢化が進んでいます。そうすると高齢者がふえ高齢者が一人ですぐすこともふえると思います。その時は一人一人にロボットといっしょにいるという未来に私はして、みなさんに「生きるのがたのしい」と思ってもらいたいです。未来の世界が便利になるために、未来の世界を笑顔でいっぱいにするために。

世界一ロボット開発が進んでいるイギリスに留学したあとに人間の体をよく観察して、人型のロボットをつくっていきたいです。けれどそこで一つ問題があります。それは「お金」です。ロボットを開発するにはとても「お金」がかかってしまうので、ロボットのねだんも高くなってしまいうのです。そうすると買ってくれる人が極僅かになってしまいます。そこで思いついたのが、ロボットを貸出することです。それはデパートなどの人が集まる所にロボット貸出コーナーという所を作